



強く、幅広く、
一発除草。



もう、オモダカ
コナギには
困らない。



新規有効成分サイラが入った、水稲用一発処理除草剤。

ジャスタ®

1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ・400FG

新規有効成分
サイラ®

×

ピラゾレート

+

トリアファモン



農林水産省「稲発酵粗飼料
生産・給与技術マニュアル」
に掲載された農薬です。



三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

ジャスタ、CYRA、サイラは三井化学
クロップ&ライフソリューション株式
の登録商標
CYRA、サイラはシクロピリモレート
のブランド名です。

特長

- サイラ×ピラゾレートの相乗効果で、ALS阻害剤抵抗性のオモダカ、コナギ、ミズアオイ、ホタルイ等に高い効果を示します。
- 強力な白化作用でイボクサ、アゼガヤ等の畦畔侵入雑草にも有効です。
- トリアフェモン配合で、高葉齢のノビエに対する優れた枯殺力と長期残効性を有し、また、クログワイ、コウキヤガラ、キシウスズメノヒエ等幅広い草種に効果をします。
- 1キロ粒剤、フロアブルは田植同時処理が可能です。また、1キロ粒剤は直播水稻において播種同時処理も可能です。400FGはドローン等の散布にも適しています。

●適用雑草と使用方法

●ジャスタ 1キロ粒剤

■農林水産省登録 第24290号

■有効成分：サイラ(シクロピリモレート)…3.0%、ピラゾレート…6.0%、トリアフェモン…0.50%

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稻	一年生 及び 多年生雑草 アオミドロ・藻類による 表層は離	移植時	1kg	1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ ノビエ3.5葉期 ただし、 移植後30日まで			湿水散布 又は 無人航空機 による散布
直播水稻	一年生雑草 及びマツバイ ホタルイ、ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	は種時	1kg	1回	は種同時 散布機で施用
		は種直後～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			湿水散布 又は 無人航空機 による散布

●ジャスタ フロアブル

■農林水産省登録 第24287号

■有効成分：サイラ(シクロピリモレート)…5.5%、ピラゾレート…11.0%、トリアフェモン…0.90%

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稻	一年生 及び 多年生雑草 アオミドロ・藻類による 表層は離	移植時	500ml	1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ ノビエ3.5葉期 ただし、 移植後30日まで			原液湿水散布、 水口施用 又は 無人航空機 による滴下
直播水稻	一年生雑草 及びマツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ アオミドロ・藻類による 表層は離	稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで	500ml	1回	原液湿水散布、 水口施用 又は 無人航空機 による滴下

●ジャスタ ジャンボ

■農林水産省登録 第24294号

■有効成分：サイラ(シクロピリモレート)…7.5%、ピラゾレート…15.0%、トリアフェモン…1.2%

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稻	一年生 及び 多年生雑草	移植後1日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (400g)	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる。
		稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで	小包装 (パック) 10個 (400g)	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる。

●ジャスタ 400FG

■農林水産省登録 第24741号

■有効成分：サイラ(シクロピリモレート)…7.5%、ピラゾレート…15.0%、トリアフェモン…1.2%

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稻	一年生 及び 多年生雑草	移植後1日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	400g	1回	湿水散布、 湿水周縁散布 又は 無人航空機 による散布
		稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで	400g	1回	湿水散布、 湿水周縁散布 又は 無人航空機 による散布

各有効成分を含む農薬の総使用回数：シクロピリモレート剤…2回以内、ピラゾレート剤…2回以内、トリアフェモン剤…2回以内

●使用上の注意事項

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、1キロ粒剤とフロアブルはノビエの3.5葉期までに、ジャンボと400FGはノビエの3葉期(直播水稻はノビエの3.5葉期)までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に散布するように注意してください。
- 【1キロ粒剤】ホタルイ、ウリカワ(直播水稻)は3葉期まで、ヘラオモダカ(移植水稻)は6葉期まで、ヘラオモダカ(直播水稻)は発生前まで、ミスガヤツリは草丈10cmまで、ウリカワ(移植水稻)は4葉期まで、クログワイは発生前～発生初期まで、オモダカは矢じり葉1葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生初期まで、コウキヤガラは発生初期まで、シズイは草丈3cmまで、エゾノサヤカグサは2葉期まで、キシウスズメノヒエは再生茎2葉期まで、アオミドロ・藻類による表層は離は発生前までが本剤の散布適期です。
- 【フロアブル】ホタルイ、ウリカワは3葉期まで、ヘラオモダカ(移植水稻)は4葉期まで、ヘラオモダカ(直播水稻)は2葉期まで、ミスガヤツリは草丈10cmまで、クログワイは発生前～発生初期まで、オモダカは矢じり葉1葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生初期まで、コウキヤガラは発生初期まで、シズイは草丈3cmまで、エゾノサヤカグサは2葉期まで、キシウスズメノヒエは再生茎3葉期まで、アオミドロ・藻類による表層は離は発生前までが本剤の散布適期です。
- 【ジャンボ・400FG】ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワは3葉期まで、ミスガヤツリは草丈10cmまで、クログワイは発生前～発生初期まで、オモダカは矢じり葉1葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生初期まで、コウキヤガラは草丈5cmまで、シズイは草丈3cmまで、エゾノサヤカグサは2葉期まで、キシウスズメノヒエは再生茎3葉期までが本剤の散布適期です。
- クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは、必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせで使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湿水のまま田面に均一に散布してください(1キロ粒剤)。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湿水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布してください(フロアブル)。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて水深5～6cmの湿水状態にし、散布後、自然減水により田面の一部が露出するようになると、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください(ジャンボ)。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて、湿水散布の場合は田面に散布し、湿水周縁散布の場合は水田周縁部に沿って帯状に散布してください(400FG)。
- 本剤処理後、少なくとも3～4日間は通常の水深状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないよう注意してください。また散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください(ジャンボ)。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湿水状態(湿水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください(フロアブル)。
- 本剤を無人航空機による散布・滴下に使用する場合は次の注意事項を守ってください。また、水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。【1キロ粒剤・400FG】
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメトリック開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう注意してください。【フロアブル】
 - 滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないでください。
 - 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。
 - 薬液の飛散によって適用作物以外の作物に影響を及ぼすおそれがあるので、周辺作物に薬液がかからないように風の影響等を十分考慮して滴下してください。
 - 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
- 移植または播種前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布してください。
- 稲の根が露出する条件下では薬害を生じるおそれがあるので、使用をさけてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 補植は必ず散布前に行ってください。
- 葉や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足を生じる可能性があるため、湿水周縁散布をさせ、本田内で水田全面に散布してください(400FG)。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破散することのないよう注意してください(ジャンボ)。
- 下記のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 - 軟弱な苗を移植した水田
 - 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- 本剤使用前に、活着遅延を生じようとする異常低温が予測されるときは、初期生育の抑制などが生じるおそれがあるので、このような条件下での使用に際しては、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 処理後暑い高温や低温が続く場合には、稲にクロロシスや黄化を生じ初期生育が抑制される場合があるが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎ及びさやえんどうを栽培しないでください。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください(フロアブル)。
- 空袋、空容器等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください(1キロ粒剤・フロアブル)。
- 散布田の水田を他の作物に灌水しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行ってください。
- 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理してください。また、使用した機器等以外に使用しないでください(フロアブル)。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

*本製品は水稻用除草剤であり、製品ラベルの記載以外には使用しないでください。
*本印刷物は2023年4月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。